



社協だより

— 安心して暮らせる福祉のまちづくり —

2024年

12月

No.321

赤い羽根共同募金
僕たちの想いが皆さん
に届くように・・・



12月の社協だより

今月号の表紙は「きままにスポーツ・健康フェスタ」です。当協議会からも参加し、共同募金、認知症、シルバー人材センターの広報を行いました。

他にも当協議会が行った事業で「地域サロン」や「ふれあい交流会」を紹介しています。

また、社協情報には12月の相談日やお知らせ等をご紹介します。

もくじ

- P2 認知症事業／地域福祉課
福祉座談会／在宅福祉課
- P3 子ども民生委員活動／地域福祉課
高齢者の生きがいづくり／シルバー人材センター
- P4 地域サロン／地域福祉課
- P5 ふれあい交流会／地域福祉課
- P6 生活困窮者自立支援事業／在宅福祉課
- P7 社協情報／もの忘れ相談室、CSW など
- P8 地域サロン／下陳、寺中、小峯、惣領4町内
地域を支えるふくしの輪／地域福祉塾卒業生活動紹介

事業 認知症

地域福祉課

第5回認知症多職種協働研修会を開催

10月1日（火）に開催し、36名の方が参加されました。

この研修会は、認知症の方と家族を地域で支えるための仕組み作りの一環で、認知症地域支援推進員である東部圏域、西部圏域地域包括支援センターの協力を得て、介護サービス事業所や居宅介護支援事業所などの専門職の皆様を対象に年2回開催しています。

今年度は、基調講演として熊本県認知症施策・地域ケア推進課より「認知症の現状や県の認知症に関する取り組みについて」、町役場福祉課から「町の認知症施策について」話をいただきました。

また、意見交換会では「地域で認知症の方を見かけた時の声のかけ方」について和気あいあいとした雰囲気の中で、それぞれの立場や経験を通じた意見が飛び交いました。今年度は認知症基本法が施行されたこともあり、認知症予防と地域での共生などを新たに学ぶ機会とできたらと考えています。



認知症に対する県の取り組みを話していただきました



大変盛り上がった意見交換会

会 談 座 社 福

在宅福祉課

市ノ後団地、安永4町内で開催

市ノ後団地福祉座談会（10月4日） 安永4町内福祉座談会（10月11日）

市ノ後団地は「公民館での活動も増え、参加者も多い。提案すると、すぐやってみよう！となるよい地域です」また、「市ノ後団地は3役（区長、民生児童委員、高齢者相談・地域福祉委員）以外にも良い意見を出される役員がたくさんいます」と地域の良い所を話してくださいました。見守り対象者についても、民生児童委員と高齢者相談・地域福祉委員ともに情報共有しており、座談会後も訪問先の確認をされていました。



市ノ後団地座談会の様子



安永4町内座談会の様子

会員紹介 ～タスキ～

No.51

氏名／田中真也さん
所属／一般作業班



高年齢者の生きがい づくり シルバー人材センター

「敬老の日」に地域 を回る

子ども民生委員活動

地域福祉課

益城町民生委員児童委員協議会の本木たつみ副会長に話を伺いました。

始まりは令和2年に町役場福祉課及び社協と話し合い、木山中山校区民生児童委員が活動したことがきっかけで現在は、木山中学校を中心に行っています。家の中に招き入れてくださる方

や若かりし日の話に盛り上がり楽しい時間を過ごしました。また熊本地震をきっかけに福島の高校生と木山中生徒との交流を行ったり、コロナ禍や昨年は暮れのご挨拶に中学生の年賀状を届けています。今年の活動は中学生の自主性を尊重し、民生委員は後ろから見守るだけでしたが、会話が弾み、活動の中で改めて地域の中を歩き、新しい発見もあったようです。子どもたちが地域の一員として、地域を知り、高齢者と関わった体験が地域活動へ参加する機運の育みや地域とのつながり、地域の力を高める一歩と感じています。



中学生の訪問を喜んで受け入れてくださいます



訪問回数を重ねると会話が盛り上がりました

会員登録のきっかけ

定年退職後、ただ家で過ごすだけではなく、社会とのつながりを感じられる場がほしいと思っていました。シルバー人材センターについて知人から話を聞き、これなら自分の経験を活かしながら、地域社会の役に立てるかもしれないと感じ、入会を決めました。

活動をとおして思うこと

自分より先輩の皆さんが暑い日も寒い日も汗を流しながら一生懸命に活動されている姿に感動し、年齢を重ねても、まだまだ自分ができることがあると感じています。また、様々な方との出会いや新し

い発見も多く、学びに終わりがないと実感しています。社会に貢献できる場があるのは本当にありがたい充実感を得られています。

趣味

妻と娘が園芸を趣味にしており、自分も一緒に花植えをしています。小さな花を何種類か育てており、いつの日か庭を花いっぱいにしたと思っています。

これからやりたいこと

自分のこれまでの経験を活かして若い世代のサポートをしたり、地域の子どもたちやお年寄りの方々が安心して暮らせる地域づくりに携わりたいと思っています。



作業の打ち合わせの様子

地域サロン

地域福祉課

地域サロン応援隊養成講座

8月28日(水)から4回にわたり、ミナテラスで講座を開催し20名の参加がありました。

講師に熊本県レクリエーション

協会の上野祥子会長をお招きし「身近な道具を使ったレクリエーションと道具の作成」「ニュースポーツと体力測定をやってみよう」「認知症を打破するレクリエーションと道具作成」「ミュージックケアとまとめ」について、実践を交えて話していただきました。参加された方からは「久しぶり

にこんなに笑った」「自分の地域サロンでやってみよう」などの声が聞かれ、早速各地域で実践されています。



牛乳パックでタワー 白い巨塔



新しい協力員が誕生しました



ミュージックケアの様子

地域サロン

地域福祉課

協力員交流会を開催

10月29日(火)に開催し、49地区から82名の方が参加されました。この交流会は、各地域サロンの情報共有を行い、これからの地域サロン活動に役立てていただくことを目的として年1回開催しています。

今回は、古閑ミニサロンの佐伯ヒロ子さんと齊藤幸子さん、木山下辻団地ほほえみ会の井芹哲史さんに活動発表をしていただき、また御船町の地域サロン「ぎんなんクラブ」から古閑住一さんに来て

いただき、ぎんなんクラブの活動発表をしていただきました。それぞれの地域サロンの特徴や工夫しているところを共有し、「うちのサロンでもできるかな」「この行事は取り入れてみよう」などの意見が聞かれ、今後の地域サロン活動に活かすことができる交流会となりました。



参加者から時折笑顔も見られました



ます

活動発表をしている御船町ぎんなんクラブの古閑住一さん

ふれあい交流会

地域福祉課

地域のつながりを大切に

町内在住の一人暮らし高齢者を対象に、役に立つ講話やレクリエーションなどを楽ししい時間を過ごしていただくことを目的に、毎年恒例のふれあい交流会を9月26日（木）木山校区、10月3日（木）飯野・広安校区、10月16日（水）福田・津森校区、10月25日（金）広安西校区の4回に分け、



「益城育ち」「益城小唄」が流れ出すと自然と体が動き出します



楽しい寸劇や漫才に笑顔が溢れます

地域での参加者の交流も兼ねて開催しました。

熊本人権擁護委員協議会上益城支部による「電話で「お金」詐欺」講座では、実際に起こったできごとを寸劇や漫才を交えながら面白く、楽しく教えてくださいました。益城町でもロマンス詐欺なども増えているとのことで、電話の対応方法などメモを取られる方もいらっしゃいました。また、その後は「地域で踊ろう盆踊り社中」による、優雅な「山鹿灯籠」の踊りに見惚れたあとは、盆踊りや「炭坑節」などをみなさんで踊りました。「益城育ち」「益城小唄」は住民のみなさんは体に染みついていてるようで、音楽が鳴り始めると

なさん息もぴったり踊り始めて、普段動かすことのない体を動かす機会にもなりました。

協力いただいた民生委員の皆様や多くの方に参加していただき、終始、笑い声が絶えない楽しい時間を過ごすことで改めて地域のつながりの大切さを感じた交流会でした。



息の合った漫才も披露されました



益城町の人権擁護委員による寸劇



地域で踊ろう盆踊り社中の踊り



みなさん楽しい時間を過ごしていただきました

生活困窮者自立支援事業（お困りごとの相談窓口）

在宅福祉課

「働きたくても働けない」「住む場所がない」など、生活に困っている方の相談について、この事業では相談窓口を設けています。

お困りごとの話を伺いながら、状況に合わせて支援内容の情報提供を行い、他の専門機関での支援が必要であれば連携を図り、相談者一人ひとりに合わせた支援プランを作成します。

専門の相談員が相談者の皆さんに寄り添いながら、他の専門機関とも連携して、解決に向けた支援を行っています。

さまざまな困りごとの相談を受け、支援を行っています

何か気になることがありましたら、気軽にご連絡ください。

お問い合わせ 在宅福祉課 ☎096-214-5566

こんなことに困っていませんか？ ひとりで抱えこまずにご相談ください

相談
無料

日々の生活のなかでの不安や、困りごとをお聞かせください。一人ひとりの状況に合わせた支援内容を相談者と一緒に考え、専門の機関・団体と連携して、解決に向けた支援を行います。

秘密
厳守

生活費のこと

- 借金を何とかしたい
- 税金や公共料金が払えない
- 家計のやりくりがうまくできず、生活が苦しい
- 年金だけで生活できるか心配だ

家計
相談支援

家計の立て直しについてアドバイスします
家計状況の問題を整理し、自ら家計を管理していただけるように、状況に応じた支援計画の作成や貸付のあっせん等を行います。

仕事のこと

- 仕事が見つからない
- 仕事が続かず収入が安定しない
- 仕事を始めたいけれど、働けるか不安

就労
準備支援

就労への第一歩です
「社会との関わりに不安がある」、「周囲の人とのコミュニケーションがうまくとれない」など、すぐに働くことが心配な方に、就労に向けた訓練や就労体験の機会を提供します。

子ども・家族のこと

- 子どもの学費や勉強のことが心配
- 家に引きこもっている家族がいる

子ども
学習支援

子どもの明るい未来をサポート
子どもの学習支援や居場所づくり、進学、高校の中退防止等について、子どもとその保護者に必要な支援を行います。

住まいのこと

- 会社を解雇され、住むところがない
- 家賃が払えず、家を出なければならぬ

住居確保
給付金

家賃相当額を支給します
離職などにより住居を失った方、または失うおそれの高い方に、就職に向けた活動を行うこと等を条件として、一定の期間、家賃相当額を支給します。

一時
生活支援

宿泊場所や食事等を提供します
決まった住居のない方に、一定期間の宿泊場所と食事等を提供しながら、自立した生活に向けた支援を行います。

くらしのこと

- 生活に不安がある
- 病院に行けない
- 家族がひきこもっている

仕事のこと

- 仕事が見つからない
- 働きたいけどブランクがある
- 社会に出るのが不安

住まいのこと

- 家賃が払えない
- 家を出なければならぬ

お金（家計）のこと

- 子どもの学費がない
- 税金を滞納している
- 借金の返済が大変
- 電気や水道が止められている

裏面に記載の、お住まいの市町村の窓口にご相談ください。

社会福祉法人 熊本県社会福祉協議会

〒860-0842 熊本中央区南千反畑町3番7号 熊本県総合福祉センター5階
TEL.096-324-5470 FAX.096-355-5440

社協情報

当協議会でやっているイベントや相談日等を掲載しています。詳細は、お気軽にお尋ねください。

◇もの忘れ相談室

認知症に関する悩みや不安の解決を一緒に考え、医療機関や介護サービス等、必要な機関にご紹介する相談室を開設しています。

相談日／12月17日（火）

- ① 13時30分から
- ② 14時30分から
- ③ 15時30分から

場所／役場1階相談室

※事前予約制です。

問／地域福祉課

☎096-214-5566

◇第2回社協まつり

開催日時／12月21日（土） 10時から14時

場所／保健福祉センター

（住所／益城町惣領1470）

内容／地域活動・能登半島支援発表、伝承遊び、展示・体験・販売など

問／地域福祉課

☎096-214-5566

◇コミュニティソーシャルワーカー（CSW）

コミュニティソーシャルワーカーとは、どこに相談したらよいか分からない悩みごとや困りごとを受け止め、支援機関との連携や制度・サービスを活用しながら困りごとの解決を目指す地域の身近な相談員です。

ご相談は高齢・障がい・子ども・生活困窮、ひきこもりなどの枠組みに捉われず、包括的に受け止めてご本人やご家族と困りごとの解決に向けて一緒に考えていきます。

福祉に関する相談や暮らしの中の困りごとはコミュニティソーシャルワーカーへご相談ください。

問／在宅福祉課

☎096-214-5566

◇シルバー人材センター

現在、事前予約制による個別入会説明会を実施しています。活動内容についてのご相談でも構いません。興味のある方

は事前連絡をお願いいたします。

日時／随時（平日9時から16時まで）

場所／保健福祉センター内事務所

（住所／益城町惣領1470）

問／シルバー人材センター

☎096-289-6092

◇つばきサロン

各地域サロンでの活動で、参加者の最近の想い（つばき）をご紹介します。

アレ・ソレで話を通じる

年齢に

旦那さま 犬と留守番

これ安心

公民館 行ってみたいが

どこだっけ

長生きば しようと思っ

折り鶴を

整骨院 行って今日も

元気です

問／地域福祉課

☎096-214-5566

◇心配ごと相談

日常生活のちょっとした心配ごとから、土地や相続などの法律に関することまで相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

※予約不要（相談対応中の方はお待ちいただくことがありますので、あらかじめご了承ください）

日時／毎週水曜日

10時から12時、13時から15時

場所／役場1階相談室D

住所（益城町宮園702）

※相談員は左記の表をご覧ください。変更になる場合もあります。

問／在宅福祉課

☎096-214-5566

日程	専門相談員	相談員	
12月4日(水)	松尾英美 (司法書士)	前田宣俊 (民生児童委員)	
12月11日(水)	松尾 一 (行政相談委員)	滝川朋子 (人権擁護委員)	友池留美子 (民生児童委員)
12月18日(水)	松尾英美 (司法書士)	清水志保美 (人権擁護委員)	椎葉るみ子 (民生児童委員)
12月25日(水)	松尾 一 (行政書士)		岡本壽則 (民生児童委員)
1月1日(水)	祝日（元日）のためお休みです		

～つながる地域・住みよいまち～

地域サロン

町内の各地域サロンでは、高齢者をはじめ地域の人たちが楽しく集まる空間づくりが盛んに行われています。また介護予防の取り組みや閉じこもりの防止、見守り、仲間づくり、社会参加を目的とした活動などを行っています。

下陳千光寺サロン



場所/下陳公民館/日時/毎月第17日 13時30分

寺中アヤメサロン



場所/寺中公民館/日時/毎月第4木曜日 13時30分

小峯ニコニコサロン



場所/大峯公民館/日時/毎月第3水曜日 10時

惣領4町内こがみサロン



場所/惣領4町内公民館/日時/毎月第2水曜日 13時30分

地域を支えるふくしの輪

地域福祉塾卒業生活動紹介

今回は、地域福祉塾卒業生の横井さんが代表を務めるエンジェル♡ハートの認知症マフ作りによる地域活動を紹介いたします。きっかけは、新聞記事でこの活動を知った横井さんが、ご自身の得意な編み物で地域貢献できることに感銘を受けたことが始まりです。

認知症マフとは、認知症の方の不安などを軽減するための、柔らかくカラフルな筒状のニット製品のことで、エンジェル♡ハートでは作成した認知症マフを地域の施設等へ寄贈予定です。

「誰もが安心して暮らせるまちづくりを支えている活動を紹介します」



ご自宅で眠っている毛糸がありましたらご連絡ください

2024年

12月

No.321

発行 / 社会福祉法人 益城町社会福祉協議会 会長 西村 博則

〒 861-2233 熊本県上益城郡益城町惣領 1 4 7 0
益城町保健福祉センター「はびねす」内
TEL /096-214-5566 FAX /096-214-5567
ホームページ <https://www.mashiki-shakyo.or.jp/>

